

# 技術で未来拓く

(217)

—産総研の挑戦—

生活をより良く

デジタル技術の進歩に伴い、地図のデジタル情報がインターネットやスマートフォン向けに提供されるようになった。ここでもデジタル変革(DX)の考えが注目を集めている。これは、情報の単なる

## 新形式で高速送受信実現

デジタル化ではなく、デジタル技術を活用することで人々の生活をより良いものへと変革すること、そしてその実現のために革新的な技術を展開することである。これは、地図情報にも求められている。

### データPNG

これまで一部企業、専用のデータフォーマットやアプリケーション(応用ソフト)で地図情報を提供してきた。しかし、DX時代では、インターネット上で大量の電子情報を誰もが高速に取得でき、ウェブブラウザ上で高速に処理できることが大切である。それには、適切な種類の地図データ、す

数値PNGによる標高データを使用した3Dウェブサイト(神戸市三宮付近)



(産総研提供)

なわち地図を塗り分け、色で表現するパレットPNG、格子状に配列する数値データを表

現する数値PNGおよび任意の位置座標を持

### 普及目指す

データPNGはす

すでに、いくつかの凡

つポイントに利用が始まっている。例えば標高データ現する点群は、数値PNGを使うと、国土地理院と兵庫県、産総研から公開されることが可能。産総研では3次元表示が可能な「20万分の1日本シームレス地質図」を提供しているほか、利用者が使うデータを圧縮しているウェブブラウザを閲覧者側で手軽に3次元地図を見えるための「MyMap3D」を公開している。また、パレットPNGをPNGでは、飛行ロボットのドローンによる測量データや海洋調査の凡例のみを表示、あ

産総研 地質情報研究部門 シームレス地質情報研究グループ 上級主任研究員 西岡 芳晴



### プロフィール

本業は花崗岩(かこうがん)岩石学と地質図幅調査。複雑な地質情報を多くの方に使っていただく手法を検討するうちに現在のフォーマットに到達。このフォーマットは地図情報一般に適用可能で、現在活用方法を模索中。地図情報の新しい提供方法を検討されている方、ぜひご相談ください。

## DX時代の地図情報